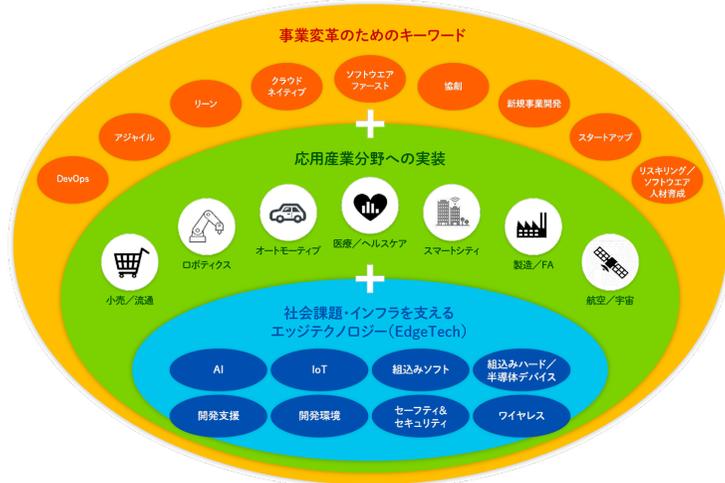


EdgeTech + 2022

2023年1月10日～2月10日

オンライン開催 : <https://www.jasa.or.jp/expo/>



「事業変革のためのキーワード+応用産業分野への実装」
を成立させるためのリスキリングには
HCD※領域の取組みの要である
「HCD※（人間中心設計／人間中心デザイン）のマネジメント」
が欠かせない

※HCD : Human Centered Design

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構
ビジネス支援事業部
企画講演のご案内

以下の4講演は、
デジタル時代に対応するリスキリングで着目されている
HCD※（人間中心設計／人間中心デザイン）領域のマネジメント
に関する連携講演です。
是非、セットでご視聴ください！

※HCD : Human Centered Design



B1-01 「政府調達におけるデザインプロセスの導入の取り組みについて」

デジタル庁 サービスデザインユニット サービスデザインプロセス / ガイドライン整備チームリード
大橋 正司 氏



A2-01 「経験価値志向の人間中心設計（HCD）：

すべての人にHCDの基礎知識とマインドセットを」

（一社）人間中心社会共創機構 理事長
伊東 昌子 氏



C3-02 「テクノロジーの社会実装を実現するためのHCDマネジメント」

（特非）人間中心設計推進機構 理事長 / 豊橋技術科学大学 客員教授 / ソシオメディア（株） 代表取締役
篠原 稔和 氏



C3-03 「人間中心デザインを活用したDX事例」

小樽商科大学 商学部社会情報学科 教授
平沢 尚毅 氏

11月16日



B1-01 「政府調達におけるデザインプロセスの導入の取り組みについて」

デジタル庁 サービスデザインユニット サービスデザインプロセス / ガイドライン整備チームリード
大橋 正司 氏

※プロフィール、講演概要、および【ご視聴の登録】については以下をご確認ください。

URL : https://f2ff.jp/introduction/7025?event_id=etexpo-2022

【本講演内容の予告編スライド】

本チームの取組
誰ひとり取り残されないための
サービスデザインの推進

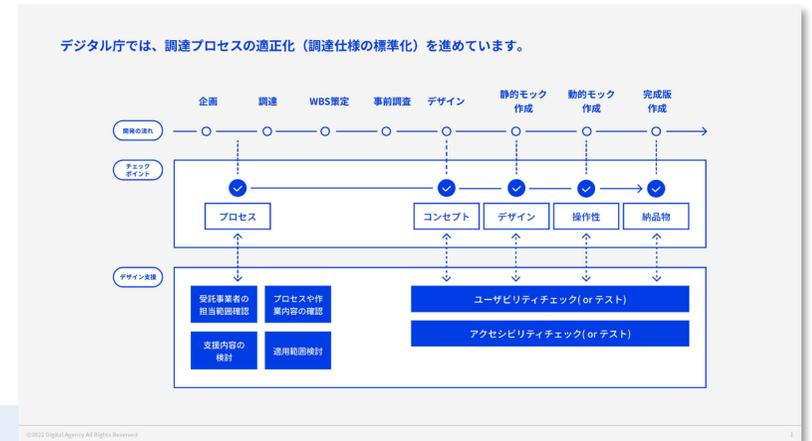
アプリレビュー (App Store)
3.6 /5

証明書発行数
10,000,000+

グッドデザイン賞ベスト100に選出

「バーカードの読み取り」
バーコードを読み取り、読み取りエラー発生時に音声ガイダンスを再生して読み取りをサポートする。

「新型コロナウイルス感染症予防対策アプリ」
山田 真子
2021年12月12日
厚生労働省
2021年度優良アプリ
YAMADA YOSHIKO
2021年度優良アプリ



本チームの取組
デザインシステムの整備

あらかじめ一定の「アクセシビリティ」「ユーザビリティ」を担保したデザインを提供することで、標準化・統一化を推進、ユーザーの使い勝手、運営者の開発・運用効率を向上させる。

セレクター

テキスト入力

ガイドライン

仕様

11月17日



A2-01 「経験価値志向の人間中心設計 (HCD) : すべての人にHCDの基礎知識とマインドセットを」

(一社) 人間中心社会共創機構 理事長
伊東 昌子 氏

※プロフィール、講演概要、および【ご視聴の登録】については以下をご確認ください。
URL : https://f2ff.jp/introduction/7013?event_id=etexpo-2022

【本講演内容の予告編スライド】

コモデティ化と経験価値アプローチ

体験的な五感や感情に訴える物語性、新たな発見と学び

利用者とその活動文脈を丁寧に調査・分析
人間中心設計が方法論として有効

当該製品を使う利用文脈で知覚される使いやすさ、パフォーマンス、効率性、安全性等の使用実感

	小	既存カテゴリとの違い	大
小	コモデティ化市場 パフォーマンス上の優位性ない	経験価値戦略	コモデティ化市場 新たなサブカテゴリの提案 カテゴリ価値戦略
大	中程度のコモデティ化市場 (利用)品質価値戦略	独自価値 (先発) 戦略	新たに想像された市場での新製品

温蔵, 2007 (知覚差異: 技術的)

(エルゴノミクス基盤) 人間中心設計: 主要プロセス

人間的一般特性を踏まえることに加えて、特定状況にある利用者や活文脈上の周囲の人々を調査・分析して、価値やリスクを理解し、設計要件を特定し、設計・開発し、評価する設計方法論

対象となる人(人々)の利用状況調査: インタビュー、アンケート、フィールド調査

利用状況の理解と明確化 → 適切な段階へ反復

経験価値主体
利用状況と経験価値を理解し、主要人物像であるペルソナや利用シナリオの作成による要件定義。関連するエルゴノミクス要件を踏まえたガイドラインの作成

ユーザの要求事項の明確化 → エラー、誤解、事故防止
ユニバーサル性を担保
こちらがなければ一面的なHCDあるいはリスク検討が疎か

評価

デザインによる解決案の作成 → 情報の構造化
ペーパープロトタイプング

HCD検

EdgeTech+

経験価値アプローチと人間中心設計(HCD)の関係性

経験価値アプローチの5段階 (Schmitt (2003) 矢印は筆者が追加)

顧客・利用者の経験価値世界を分析 → 調査・分析

顧客・利用者の日常的活動文脈をシミュレーションして、観察し、インタビューする

経験価値プラットフォームの構築 → 戦略

顧客価値に基づくガイドライン

顧客インタフェースの構築 → 顧客接点の設計と開発

ブランド経験価値の構築 → 顧客価値に基づき要件とモデル図

設計・開発の実践

家装のための要件定義・設計とプロジェクトマネジメント

人間中心設計の主要4プロセス

利用状況の理解と明確化 → 調査・分析

適切な段階への改善・改革

評価

ユーザの要求事項の明確化 → 戦略・ガイドライン

デザインによる解決案の作成 → 設計・開発の実践

評価から改善・改革

継続的イノベーション

経験価値プラットフォームの構築

顧客インタフェースの構築

ブランド経験価値の構築

設計・開発の実践

EdgeTech+

11月18日



C3-02 「テクノロジーの社会実装を実現するためのHCDマネジメント」

(特非)人間中心設計推進機構 理事長 / 豊橋技術科学大学 客員教授 / ソシオメディア (株) 代表取締役
 篠原 稔和 氏

※プロフィール、講演概要、および【ご視聴の登録】については以下をご確認ください。

URL : https://f2ff.jp/introduction/7044?event_id=etexpo-2022

【本講演内容の予告編スライド】



11月18日



C3-03 「人間中心デザインを活用したDX事例」

小樽商科大学 商学部社会情報学科 教授

平沢 尚毅 氏

※プロフィール、講演概要、および【ご視聴の登録】については以下をご確認ください。

URL : https://f2ff.jp/introduction/7045?event_id=etexpo-2022

【本講演内容の予告編スライド】

DX (Digital Transformation) の定義

・ 公共のDX

デジタルトランスフォーメーション(DX)は、あらゆる組織や分野でスマートな行政サービスを展開し、革新的な価値創造を支援することができるものである。また、DXは住民をより安全・安心にし、快適で持続可能な社会へと導くことができるソリューションを生み出すことで、住民の幸せや豊かさ、情熱を実現し、地域やエリアの価値を向上させることを可能にする。DXは既存の仕組みや手続きへの挑戦、より住民本位の革新的な解決策を協働で考えることを促す。DXを推進するためには、組織のあり方や文化を革新的、アジャイル、協調的に変革することが必要である。DXは、トップマネジメントが主導して行うものでありながら、全てのステークホルダーが変革に参加することを求められる。

クラウド化の体験

- ・ クラウド化を組織全体の効率化の好機ととらえる。
- ・ 情報化の更新を、機能追加からビジネスプロセスの変革へマインドセットを変える。

ビジネスプロセス改善へ

▸ スタッフ意識の方向づけ

社会技術的フレームワーク

